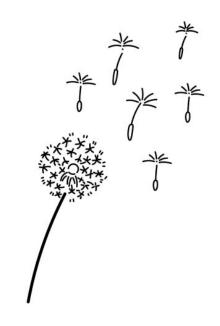
仲間と体験談をつづりましたノックして欲しいと願い



#### 私の回復

#### 茉莉花

よう 色一 々 戸始 と問 で、 まり 建 てを 題が起こり始め、何とか公立なり、を購入し、引っ越しに伴い校には、当時十六歳だった息子の不見 不 登校が始まり昼 夜逆 転 するよう 高区登 校が校 にに変 で 家 所そ は はの念 な辺顔 かりの つか たら

での問の うと す。 責題思 そ 任、その頃のなる Z の来て 私 にせにつ 依い相も 存に談な している 7 処方と UIL 何 まう لح った息 焦り さ 事 れ はたで 子 校 0 あ眠い に る意意 当 つ 通 ば 時 わ の味そいせ 苦簡れでな 単なな事が依存 € √ うさなど、 と 存症の ح の時の 依知入の子 存れ口担の 7症になったれてした。 で任 教生 前と! た 相変 理 談な そ の事 由れ を選 上に は な とて 心 択 9 b 療て L 複 た 内 L 雜私 科ま

暑でなグてい苦ルも 夏たしー厄の私いプ介 子 は 盛が思に な 狐 心繋が 病 り 気薬 に をして事が、 ひとり 初 いが 7 そ ľ る出悲 ア 来しル やの なは まみ コ %所を訪れない。 孤独 や1不ル L ムだけ、わかって ん。その場所は、 た。その場所は、 れ独 た んは、 と心と心 もう十 しさを抱なっていれ とて れる 四の人も記れる からら て、 ク か レ < 前 り思える!! での世にが 私は薬!! プト で す。 (る場所) (できる5 (できる5) (できる5) い場 存 な所症 し た。 لح € 1 での し家に同じ کے で、 0 61 自 込こ自てんめめと

そがて り、尊その 重の 口 所 に教えてもらいました。依存症者に巻き込まれて病復を続けているのを目の当、信じて見守る事を教えて所で、依存症という病気や たけていろ 信じて見守る事 れて病的になってしまった家目の当たりにし、希望をもら教えてもらいました。仲間の病気や家族にできることはた らのな 族い娘い いました。 さん と いう や息 彼をひれ と 口 ŋ 復 施の 設 人 に繋し 先

L て、 仲 間 に依復 た家 復が 第 優 先 な 0 だ

ルに繋がる事はとしました。 どう りルに なた 0 の自 だとの、ためのからだとの、ためのでというだと、気が 回 きる 復  $\mathcal{O}$ ただ親であるり、息子とは、もう事はなく、それがもそればなく、それがあるがあるがはない。 づく 1 ブ 事の 3 に任せる。 が 出 もう何 来テ イ ま こいうだい 自 Ū ン で ₹ \$ た。大温 年分自 b という私 か あ 何 ŋ 連身け کے ま か絡が で、 切 13 を断った 私は な せん。 せ おけ、問題は依存症 なのは、相手を変え いしたいという自己 いしたいという自己 でいるようです。他 でのは、相手を変え 続 が彼は中一の息、がかれることで子 子 彼同か的ル は で の人生でいる人とない。 の人にしている。 は な < な 自 でした。 一はおおいる。 分を私 に気付えるで のつ も仲回 間復 のです。 き呆然 と繋が 0 ツー

に私 0 口 を目 L ま

心一そ

か度の私らは先は 息子 頼 想し合える仲間,」と共に終わられ 愛する息子 ئے のせようとしたと健康的に家芸 .と共 に。 した私の L 0 人生を大切にして生き直する 、切に生きて行こうと思ってい!すという希望を持ちながら、

### 用語の説明

## ハイヤーパワー

その力についてどう解釈するかはまったく各人に自由に任されている。薬物依存に無力であるからこそ、自分を超えた大きな力に自分をゆだねている。自分自身を超えた、自分よりも偉大だと認められる「力」。

# スポンサー/スポンサーシップ

助言や提案を示してもらう。その助言者をスポンサー、その関わりをスポンサーシップと呼んでいる。回復の十二ステッププログラムを実践するにあたり、メンバーはより経験のあるメンバーに相談し、

## 回復の十二ステッププログラム

生きかたの原理。 回復のプログラムとして提案されている 十二のステップは、 スピリチュアル (霊的) な特徴を持つ

### フェローシップ

本来は仲間の集合体を指すが、 ミーティングを離れた仲間同士の交流の意味で使われることが多い。